

-駅舎のあかり-

コンセプト

量産を目的とした照明器具の提案ではなく、私たちの日常生活に極めて身近なじみの深い場所の環境照明計画を提案する。

その場所とは新幹線ホームである。
日本の新幹線駅舎は、ごく一部を除いて、どちらも美しさからは程遠い。特に列車の発着するホームの造りはあまりにも醜い。照明計画の改善によって新幹線ホームを美しく整えよう。

改善の方針

ホームの安全性と機能性を損なわないよう適切な照明計画を考える。

ホーム全体の建築的改善は莫大なコストが必要となるので、照明計画と最小限の建築的リニューアルによってホームの空間を一新する。

具体的な提案

ホームの床面から5.0mあたりに新たに天井面を想定し、立体感のある器具を使って光のあたり方を検討し、不規則で変化に富んだ光天井をデザインする。

照明器具【A】くさび型ペンダント照明
バナナ型アルミプレートとアクリル板で組み立てた器具の側面と正面から、やわらかい間接光が散散する。光源はLED。

照明器具【B】梁型に直付照明
アルミプレートを曲面加工した器具で光は下方に落ちて、やや反射性のある素材で仕上げられたホームの床面を照らす。光源はLED。

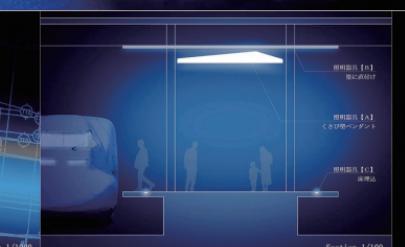
ホームの床面にも照明を新設する。

照明器具【C】床埋込型照明
ホームの端部に埋め込んで、光による演出とあわせて、足元の安全性に配慮する。

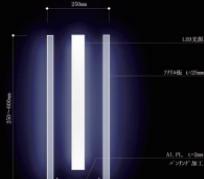
ホームを移動する列車の窓からもれる光も、環境照明の一部を成す。



本実用的な光の設計により外構のホームが変化を生む



Section 1/100



照明器具【A】詳細 1/10